

紹介率・逆紹介率

紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関から紹介状により紹介されて来院した患者様の割合です。

逆紹介率とは、当院から他の医療機関へ紹介した患者様の割合です。

高度な医療を提供する医療機関にだけ患者様が集中することを避け、症状が軽い場合は「かかりつけ医」を受診し、そこで必要性があると判断された場合に高い機能を持つ病院を紹介受診する、そして治療を終え症状が落ち着いたら、「かかりつけ医」へ紹介し、治療を継続または経過を観察する、これを地域全体として行うことで、地域の医療連携を強化し、切れ目のない医療の提供を行います。紹介率・逆紹介率の数値は、地域の医療機関との連携の度合いを示す指標です。

紹介率計算式

$$\frac{\text{分子: 紹介初診患者}}{\text{分母: 初診患者数}} (\%)$$

逆紹介率計算式

$$\frac{\text{分子: 逆紹介初診患者}}{\text{分母: 初診患者数}} (\%)$$

～当院はどうか??～

当院の紹介率は、2014年4月から12月までの平均が65.3%でした。

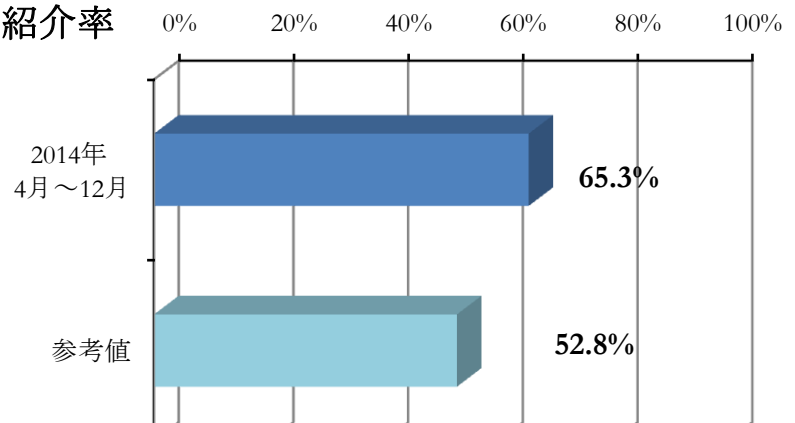
当院の逆紹介率は、2014年4月から12月までの平均が、70.6%でした。

従来の病院完結型医療体制から、現在では慢性疾患の投薬や経過観察、健康相談等を患者様の身近な地域の「かかりつけ医」が受け持ち、また、専門的な治療や高度な検査、入院・手術治療、救急医療は急性期病院が受け持ちます。急性期病院での急性期治療が終了し病状が安定した場合「かかりつけ医」の地域の医療機関で診療を継続していただきます。

このようにそれぞれの医療機関の特徴を活かしながら役割分担をして、地域全体で切れ目のない医療を提供する地域完結型医療体制構築に取り組んでいます。

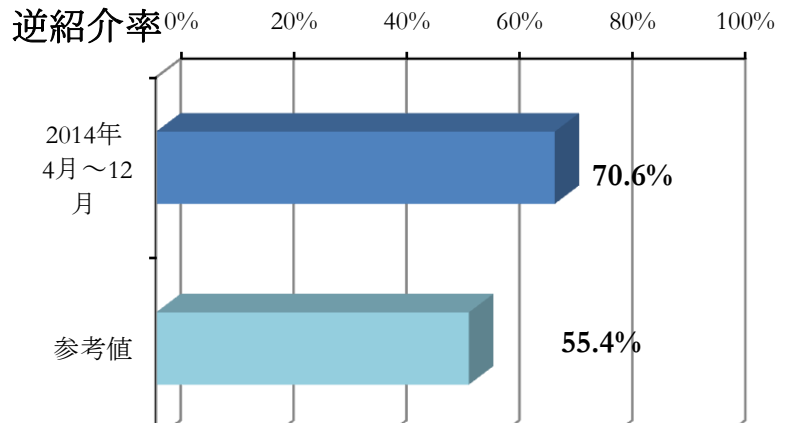
今後も、紹介・逆紹介率のさらなる向上を目指し、中東遠二次医療圏における基幹病院として適切かつ高度な医療を提供するよう努めて参ります。

紹介率



※参考値:2014年 日本病院会QIプロジェクト病院の平均より

逆紹介率



※参考値:2014年 日本病院会QIプロジェクト病院の平均より